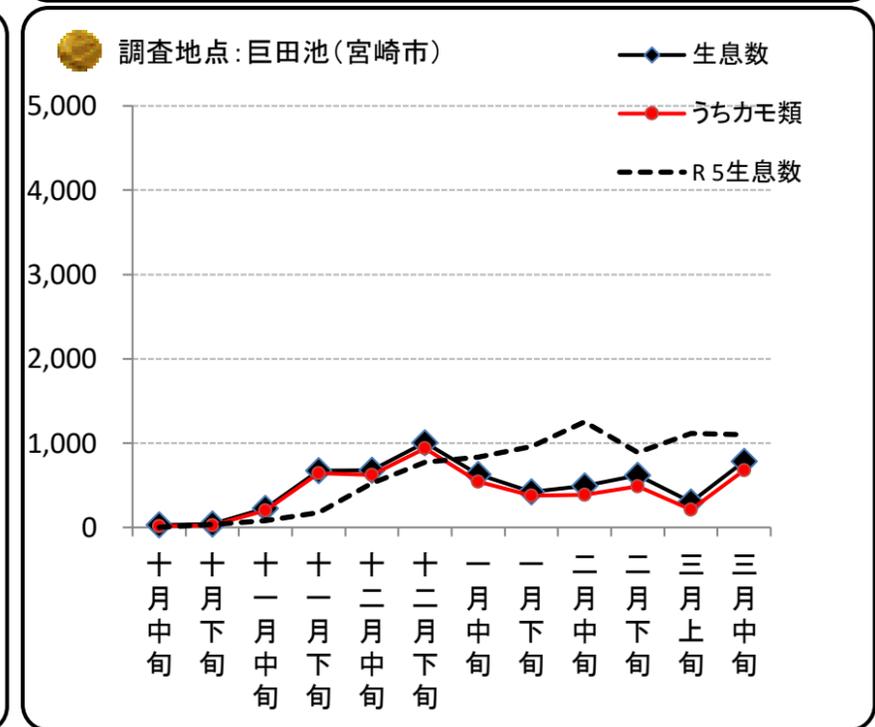
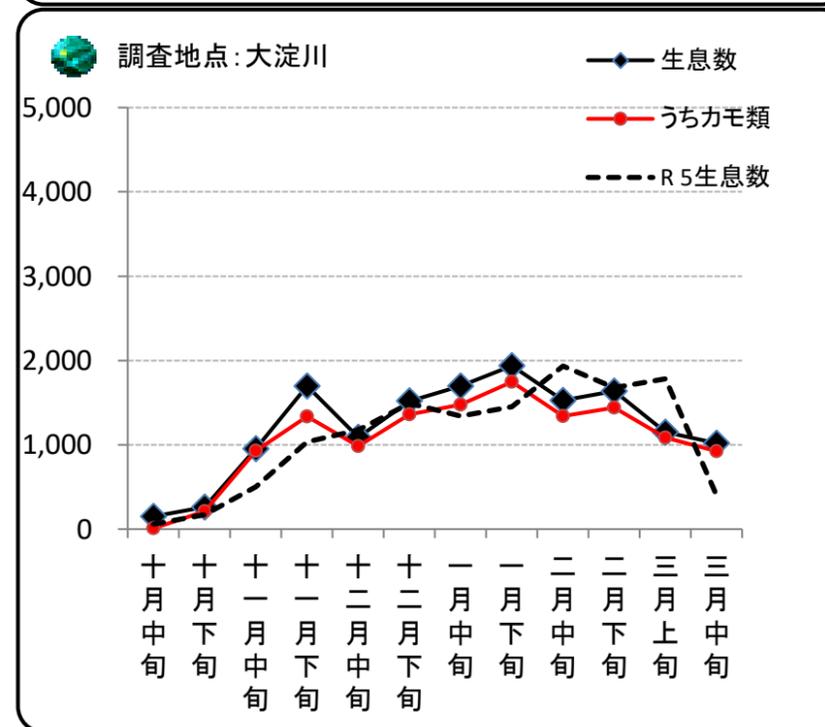
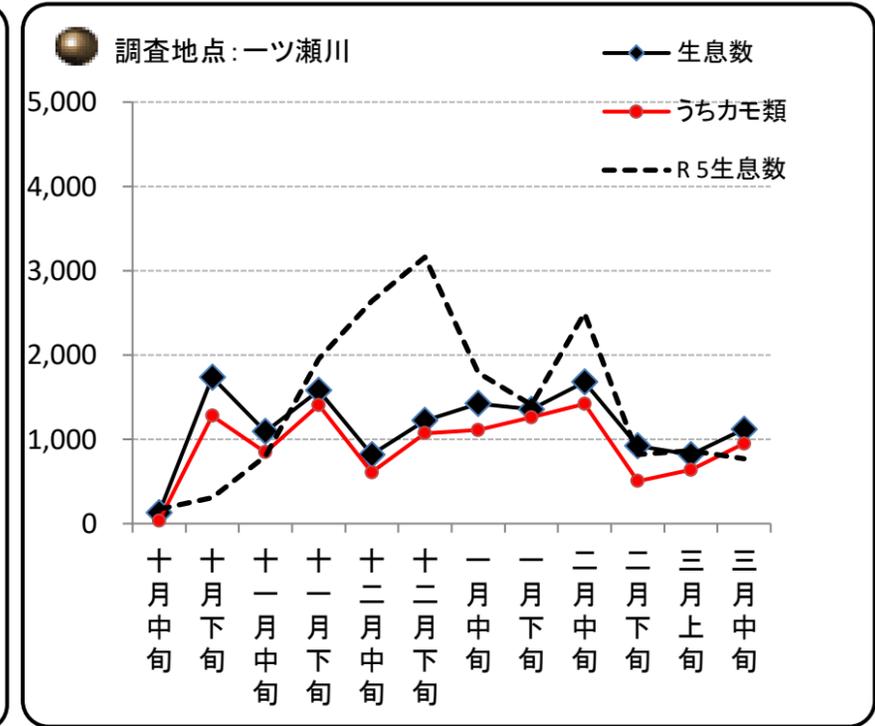
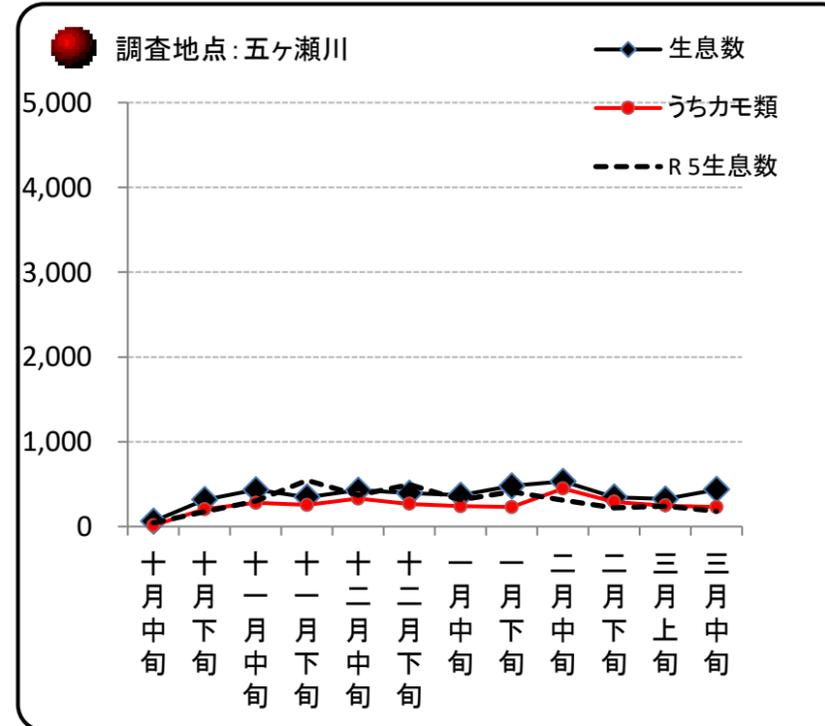


宮崎県内の野鳥生息状況調査



調査委託：日本野鳥の会宮崎県支部



令和6年度宮崎県野鳥生息状況調査

調査委託先：日本野鳥の会

調査箇所	一ツ瀬川	巨田池	大淀川	五ヶ瀬川	合計
調査日	10/11/2024	10/11/2024	10/11/2024	10/11/2024	
生息（飛来）数	131	28	150	62	371
うちカモ類	37	13	8	13	71
うち猛禽類	31	0	8	4	43
概要	カモの飛来は始まったばかりでまだ少ない。 猛禽類はトビやミサゴ等が観られたが、調査地周辺ではチョウゲンボウなどの冬鳥も飛来してきている。				

調査箇所	一ツ瀬川	巨田池	大淀川	五ヶ瀬川	合計
調査日	10/25/2024	10/24/2024	10/24/2024	10/24/2024	
生息（飛来）数	1,736	42	262	317	2,357
うちカモ類	1,279	25	212	206	1,722
うち猛禽類	18	0	3	4	25
概要	一ツ瀬川河口のカモの数が非常に多くなっているが、渡ってきたばかりで、これから各地へ分散していくのではないと思われる。 検査優先種1のヒドリガモと検査優先種3のカルガモが多い。 猛禽類ではトビが多い。 一ツ瀬川河口でキジバトの数が非常に多い。				

調査箇所	一ツ瀬川	巨田池	大淀川	五ヶ瀬川	合計
調査日	11/15/2024	11/15/2024	11/15/2024	11/14/2024	
生息（飛来）数	1,093	224	952	435	2,704
うちカモ類	847	199	927	278	2,251
うち猛禽類	10	1	1	3	15
概要	カモの数は全体的に増加してきているが、まだ渡りの初期であることから移動途中の様子である。 巨田池と大淀川でマガモが増えてきた。 冬鳥の猛禽類ではノスリとハヤブサが巨田池と大淀川で観察された。				

調査箇所	一ツ瀬川	巨田池	大淀川	五ヶ瀬川	合計
調査日	11/30/2024	11/29/2024	11/29/2024	11/29/2024	
生息（飛来）数	1,580	674	1,695	347	4,296
うちカモ類	1,406	645	1,334	253	3,638
うち猛禽類	14	3	6	3	26
概要	カモの数は例年並みに増えてきているが、まだピークではない。 猛禽類では大淀川で検査優先種1のオオタカが観察され、巨田池で冬鳥のハイタカ・ノスリが観察された。				

調査箇所	一ツ瀬川	巨田池	大淀川	五ヶ瀬川	合計
調査日	12/13/2024	12/13/2024	12/13/2024	12/13/2024	
生息（飛来）数	818	676	1,090	428	3,012
うちカモ類	608	625	986	329	2,548
うち猛禽類	55	2	1	1	59
概要	観察されたカモの数が全体的に減少したが、一ツ瀬川河口では後背地の田圃に多数観察されており、一時的な移動による可能性も考えられる。 トビ・ミサゴ以外の猛禽類の観察が少ない。				

調査箇所	一ツ瀬川	巨田池	大淀川	五ヶ瀬川	合計
調査日	12/27/2024	12/26/2024	12/27/2024	12/26/2024	
生息（飛来）数	1,223	1,006	1,519	393	4,141
うちカモ類	1,073	937	1,360	267	3,637
うち猛禽類	22	1	6	3	32
概要	カモの総数は11月下旬とほぼ同じであったが、五ヶ瀬川及び一ツ瀬川河口で工事が行われて、他の場所に移動していることが考えられる。 検査優先1類の猛禽類のノスリやハヤブサが観察された。 巨田池において検査優先種1類のトモエガモの群れが観察された。				

調査箇所	一ツ瀬川	巨田池	大淀川	五ヶ瀬川	合計
調査日	1/10/2025	1/10/2025	1/10/2025	1/10/2025	
生息（飛来）数	1,424	630	1,696	368	4,118
うちカモ類	1,111	543	1,476	240	3,370
うち猛禽類	12	1	2	1	16
概要	例年カモの飛来が増える時期であるが、今期はさほどの増加が見られない。前回より増加したのは大淀川のみで、他の3調査地では減少した。 例年見られなかった検査優先種1類のガン類が観察された。 猛禽類の観察数が少ない。				

調査箇所	一ツ瀬川	巨田池	大淀川	五ヶ瀬川	合計
調査日	1/25/2025	1/24/2025	1/24/2025	1/23/2025	
生息（飛来）数	1,355	423	1,937	479	4,194
うちカモ類	1,262	375	1,746	231	3,614
うち猛禽類	23	3	1	2	29
概要	カモの増減は、大淀川での増加と巨田池での減少が続いている。一ツ瀬川は若干の増加傾向である。 大淀川ではマガモ・カルガモ・ヒドリガモが観察されるカモの殆どであるが、3種とも増加している。 今回のカモ類の4地点の総数は昨年同期の約85%である。 猛禽類は、トビを除いてあまり観察されていない。				

調査箇所	一ツ瀬川	巨田池	大淀川	五ヶ瀬川	合計
調査日	2/7/2025	2/6/2025	2/7/2025	2/7/2025	
生息（飛来）数	1,680	491	1,526	533	4,230
うちカモ類	1,420	386	1,343	448	3,597
うち猛禽類	12	8	3	4	27
概要	カモの総数は前回同様今季のピークであるが、11月以降常に前年同期を下回っている。 今回の4地点合計は前年同期の60%である。原因は不明。 検査優先種別では、優先種3が2,134、優先種2が1,159、優先種1が687、その他種が250となっている。				

調査箇所	一ツ瀬川	巨田池	大淀川	五ヶ瀬川	合計
調査日	2/21/2025	2/21/2025	2/21/2025	2/21/2025	
生息（飛来）数	922	616	1,638	347	3,523
うちカモ類	505	489	1,443	292	2,729
うち猛禽類	7	2	2	2	13
概要	例年同様2月下旬になってカモの数が減少してきた。 検査対象種の総数も前回の4,230羽から今回の3,523羽へ減少した。 猛禽類は、留鳥のトビとミサゴを除いてオオタカとチョウゲンボウがそれぞれ1羽だけであった。				

調査箇所	一ツ瀬川	巨田池	大淀川	五ヶ瀬川	合計
調査日	3/3/2025	3/1/2025	3/1/2025	3/1/2025	
生息（飛来）数	821	299	1,152	325	2,597
うちカモ類	639	209	1,084	247	2,179
うち猛禽類	31	4	4	3	42
概要	カモの総数は次第に減少してきており、ピーク時の約6割にまでなってきた。しかし、まだオオタカ・ノスリ・ハヤブサなど検査優先種1の猛禽類が観察されている。 検査優先種1はヒドリガモの観察数増により羽数合計が増加したが、マガモ・カルガモの観察数減により、検査優先種2及び3の羽数合計は減少した。				

調査箇所	一ツ瀬川	巨田池	大淀川	五ヶ瀬川	合計
調査日	3/14/2025	3/14/2025	3/14/2025	3/13/2025	
生息（飛来）数	1,122	781	1,017	437	3,357
うちカモ類	949	678	925	230	2,782
うち猛禽類	21	1	3	4	29
概要	カモの総数は減少傾向にあるが、観察時の渡りのタイミングからか今回は前回より若干観察数が増加した。 検査優先種別の飛来羽数は優先種1類（813羽）が優先種2類（679羽）よりも若干多くなった。 カモの移動は、県北地区より県央地区の方が変化が大きいようである。				